

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公開番号】特開2006-305047(P2006-305047A)

【公開日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-044

【出願番号】特願2005-131025(P2005-131025)

【国際特許分類】

A 6 1 B 18/00 (2006.01)

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/36 3 3 0

A 6 1 B 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

頭部固定部81は、頭部を覆うのに充分な窪みを有する。頭部固定部81の表面は、比較的弾性がある物質が適用される。例えば、スポンジやゴム状の物質が適用される。頭部及び首部は、この窪みによって固定され、被検者は首を軸に頭を回転させたりすることができ難くなる。なお、頭部固定部81は、バンド(図示しない。)で額部を固定してもよい。額部を固定することにより、より頭部の固定が強化される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

また、探触子固定部50に関し、スプリング55の代わりにゴム状の弾性体を適用させてもよい。4本のスライド式ポール56でなく、5本以上にしても、筒状として適用させてもよい。また、スライド式ポール56を通過させるリングも3つ以上備えてもよい。スライド式ポールやリングの本数が増えるにしたがって剛性が増すため、有効である。